

災害危険区域指定のための構造物設定

気仙沼市が情報公開請求に応じて開示した資料には、災害危険区域を決めるために実施した津波シミュレーションの設定が記されている。

津波を防ぐ構造物として防潮堤と河川堤防、三陸道、土地区画整理による盛り土かさ上げを設定した。大島架橋整備に伴う島内の県道は反映されなかった。

防潮堤は海岸線に設定したが、小田の浜、日門、本吉大沢に設定ミスがあったほか、位置や長さなどが変更になった防潮堤計画もある。

日門にはレベル1防潮堤を計画しているが、無堤で設定。東日本大震災と変わらない浸水域が災害危険区域に指定された。

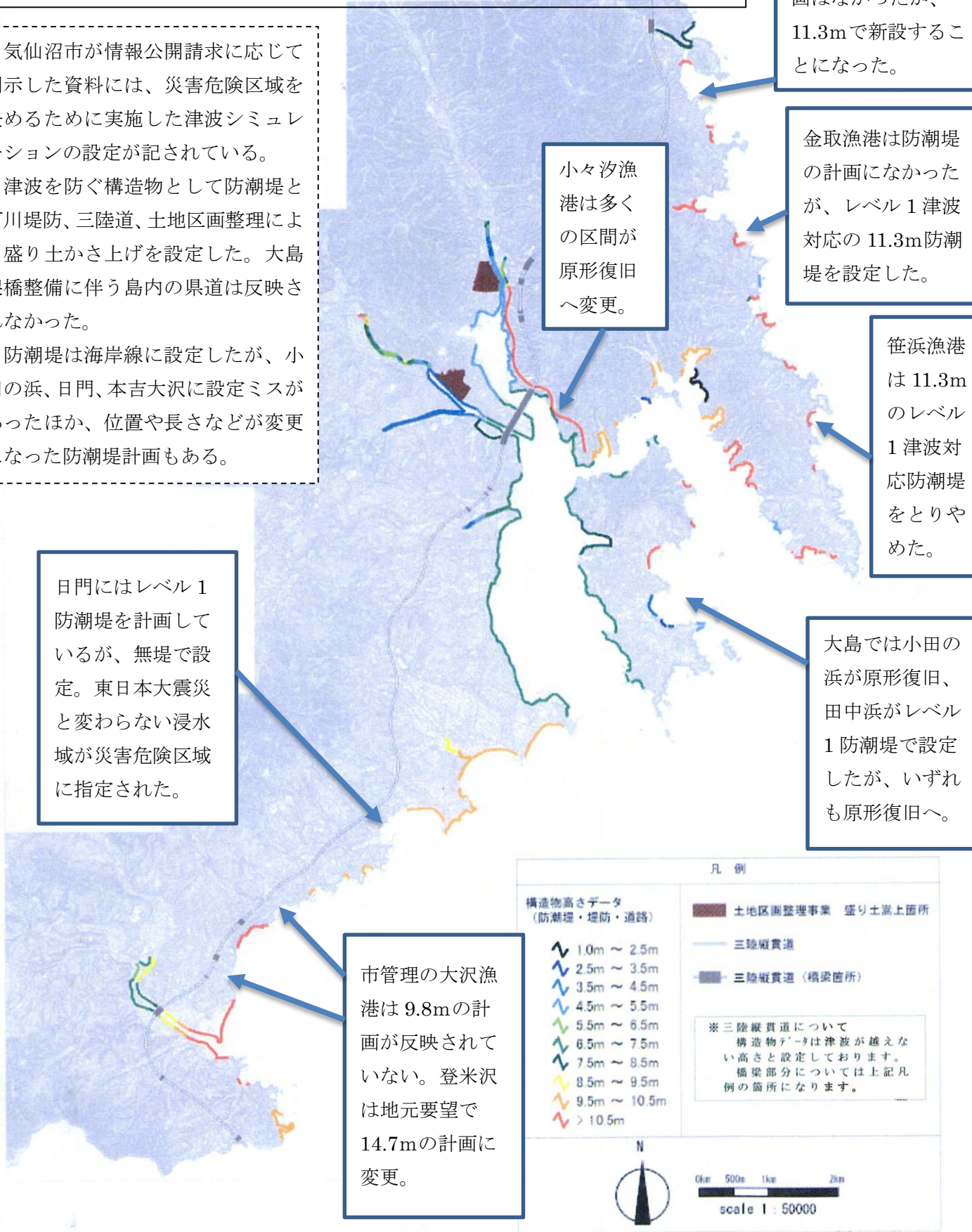
市管理の大沢漁港は9.8mの計画が反映されていない。登米沢は地元要望で14.7mの計画に変更。

館漁港に防潮堤の計画はなかったが、11.3mで新設することになった。

金取漁港は防潮堤の計画はなかったが、レベル1津波対応の11.3m防潮堤を設定した。

笹浜漁港は11.3mのレベル1津波対応防潮堤をとりやめた。

大島では小田の浜が原形復旧、田中浜がレベル1防潮堤で設定したが、いずれも原形復旧へ。



凡例

<p>構造物高さデータ (防潮堤・堤防・道路)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.0m ~ 2.5m 2.5m ~ 3.5m 3.5m ~ 4.5m 4.5m ~ 5.5m 5.5m ~ 6.5m 6.5m ~ 7.5m 7.5m ~ 8.5m 8.5m ~ 9.5m 9.5m ~ 10.5m > 10.5m 	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業 盛り土かさ上げ箇所 三陸縦貫道 三陸縦貫道 (橋梁箇所) <p>※三陸縦貫道について 構造物データは津波が越えない高さで設定しております。 橋梁部分については上記凡例の箇所になります。</p>
--	---

scale 1 : 50000

気仙沼市の災害危険区域

